



清風

南砺市立上平小学校
学校だより 令和元年7月
上平小学校ホームページ
<http://kamitaira-e.el.tym.ed.jp/>

「人間の成長のために大切なこと—山本五十六の言葉より—」

校長 林 秀 次

7月に入り、子供たちは毎朝、富山県の歌「ふるさとの空」を歌っています。「ふるさとの空」の中には“五箇山こきりこがデデレコデン聞こえてきて”というフレーズがあり、子供たちにとっては、自分たちのふるさを感じる機会にもなっています。子供たちののびのびとした歌声の中に地域を感じ、大変うれしくなりました。

上平小学校の子供たちは、毎日のように校庭やプールから元気な声を響かせながら多くの活動に取り組み、一人一人が多くの発見をし、成長してきました。一年生もすっかり小学校生活に慣れ、日々元気に活動している様子が見え、学校活動の多くの場面で、また地域の中での活動の多くの場面で保護者の皆様や地域の皆様方に支えていただいていることを感じ、感謝しております。

さて、先日、昔の資料の整理をしていた時、その中に「やってみせ、言って聞かせてさせてみて、ほめてやらねば人は動かじ。」という文章を見付けました。山本五十六氏が残した有名な文なので、どこかで耳にされたことがあると思います。実は、この文には次のような続きの文章があります。「話し合い、耳を傾け承認し、任せてやらねば人は育たず。」「やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば人は実らず。」の二文です。この文のように子供たちの頑張りを褒め、信頼し、見守りつつ適切に支援していくことができれば子供たちの大きな飛躍につながり、本校の重点である、主体的に考え、互いに伸びようとする子供を育成することができると思います。学校教育においても、家庭での子育てにおいても、地域の活動においても、そして子供にも大人にも通じる、いつまでも色あせない言葉だと感じました。

子供たちにとって長く楽しい夏休みです。家庭で過ごす時間が格段に増えます。子供たちにとっては、授業が進まないこの時期こそ、ちょっと立ち止まって自分を振り返ったり、やってみたいことに取り組んだりするために最適な時期です。この夏休みが、子供たちにとっても、子供を取り巻く私たち大人にとっても、自分を見つめ直し、前に進んでいこうとする素敵な機会となるように願っています。



学年目標の達成を目指して

4年担任 松本 恵美

4年生の学年目標は、「自分の思いや考えを話し合い、自信をもって表現しよう」「自分から挨拶を交わそう」「友達のよいところを認め合い、助け合って活動しよう」「目当てに向かって元気に運動しよう」です。6月末に学年目標についての振り返りで、「考えたことの発表や挨拶、運動についてはだいたいできているが、友達のよいところを認め合うことがほとんどできていない。」と話し合いました。そこで、「友達のよいところを認め合う」を達成するために、どんな活動に取り組んだらよいかの活動案を出し合い、試しました。そして、学級会で話し合い、友達のよいところを毎日一人ずつカードに書いて渡し合う活動をする事に決まりました。

それから毎日、活動を進める係となってカードを準備して配ってくれる子供がおり、そのカードに一人一人が友達のよいところを書いています。それを係の子供がみんなに紹介してから相手に渡しています。自分のよいところを書いてもらったカードが増えてくるとうれしい気持ちになり、お互いのよさを認め合う温かい関わり合いができました。

これからも、学年目標の達成を目指して、問題を話し合ったり活動を組み入れたりして、よりよい学級になるように支援したいと思います。